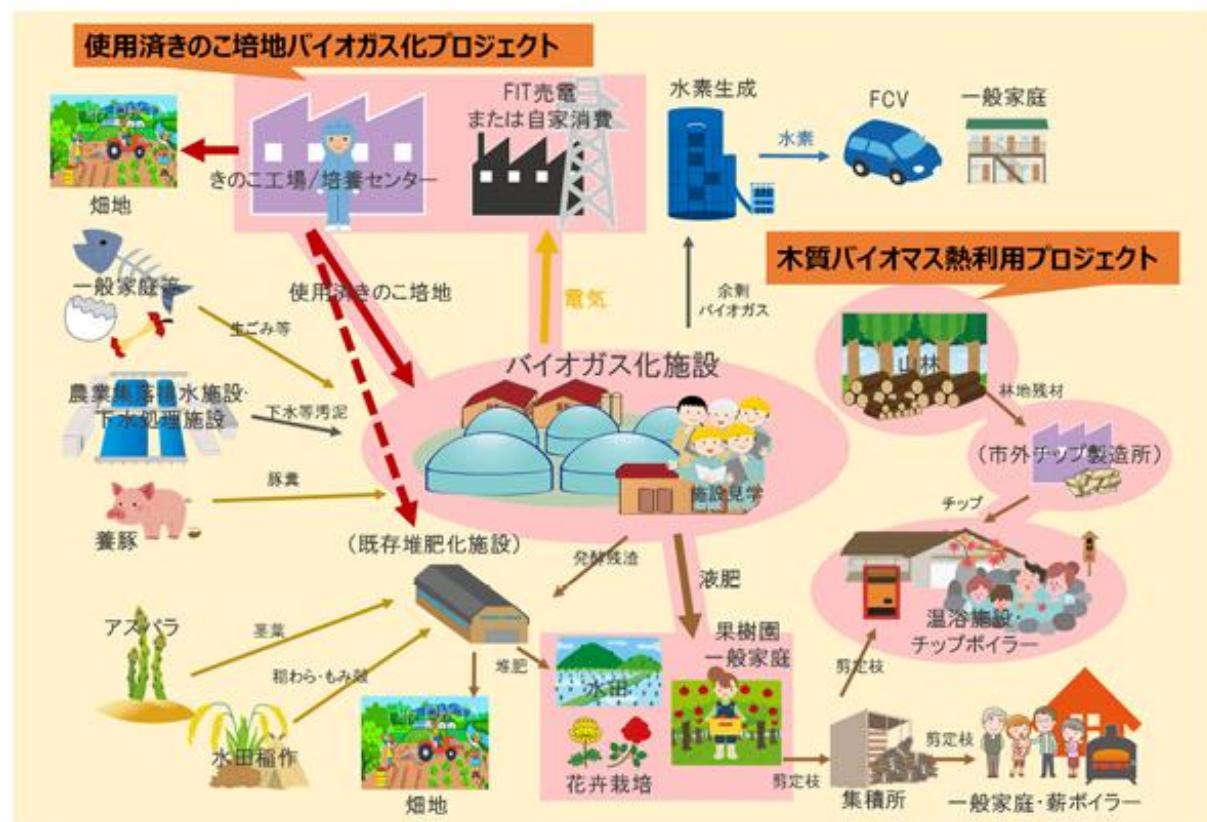


長野県中野市

住所	〒383-8614 長野県中野市三好町 1-3-19
市長	湯本 隆英
HP	https://www.city.nakano.nagano.jp/
バイオマス産業都市選定年度	2019 年度
バイオマス産業都市構想	https://www.city.nakano.nagano.jp/docs/2019052300028/file_contents/20190702_.pdf
担当部署	経済部 農業振興課 振興係
連絡先 TEL	0269-22-2111 (内線 250)
連絡先 FAX	0269-22-5924
連絡先 E-mail	shinko@city.nakano.nagano.jp



I 事業化プロジェクト

【表 1：プロジェクト一覧表】

項目	名称	現状
プロジェクト 1	使用済きのこ培地バイオガス化プロジェクト	事業中止中
プロジェクト 2	木質バイオマス熱利用プロジェクト	事業中止中

プロジェクト1の概要

名称	使用済きのこ培地バイオガス化プロジェクト
実施主体	中野市
使用する技術	メタン発酵バイオガス発電
概要 (計画)	バイオマス原料 ①使用済きのこ培地 ②生ごみ ③家畜排せつ物
	原料処理量(t/年) ①使用済きのこ培地 : 8,250 ②生ごみ : 4,125 ③家畜排せつ物 : 3,039
	発電量(kwh/年) 3,802,000
	FIT/FIPの適用 ■ FIT適用 <input type="checkbox"/> FIP適用 <input type="checkbox"/> FIT/FIP対象外
	副産物 (液肥等) 生産量(t/年) バイオ液肥 9,828

プロジェクト2の概要

名称	木質バイオマス熱利用プロジェクト
実施主体	中野市
使用する技術	熱利用
概要 (計画)	バイオマス原料 森林残材
	原料処理量(t/年) 386
	FIT/FIPの適用 <input type="checkbox"/> FIT適用 <input type="checkbox"/> FIP適用 ■ FIT/FIP対象外

バイオマス事業の進捗状況

事業化プロジェクト名	計画との進捗比較 ^{※1}	進捗状況（具体的な記述）	達成率 ^{※2}
1. 使用済きのご培地バイオガス化プロジェクト	C	令和3年度に農林水産省の食料産業・6次産業化交付金バイオマス利活用高度化の推進事業を活用し、バイオマス産業都市構想上の事業化プロジェクトについて、市内の民間事業者が基本設計を作成したが、近年の社会情勢による資材価格の高騰により、事業採算性の確保が困難となったことや、食品産業廃棄物を取り扱う建造物の建築にあたっての基準のハードルから、民間事業者が事業を中止した。同様の理由で新たな事業計画する事業者がいない。	20%
2. 木質バイオマス熱利用プロジェクト	C	年間を通しての安定的な原料の確保及び木質バイオマスの供給、運搬が難しく木質バイオマスの保存場所の確保の目途が立たず、利用が進まない。	20%

a)計画以上に進捗している b)ほぼ計画通り c)計画より遅れている d)進んでいない

イニシャルコストとランニングコストについて

①イニシャルコスト(千円)

事業化プロジェクト名	1. 使用済きのご培地バイオガス化プロジェクト	2. 木質バイオマス熱利用プロジェクト
建設費・設備費等	1,602,000	72,180

②ランニングコスト(千円/年)

事業化プロジェクト名	2. 木質バイオマス熱利用プロジェクト
原料等購入費	1,600
ユーティリティ費	6,800
修繕費	500
廃棄物処理費等	700

事業が停滞している場合の要因や事業運営上の課題について

①停滞要因

事業化プロジェクト名	停滞要因
1. 使用済きのご培地バイオガス化プロジェクト	令和3年度に農林水産省の食料産業・6次産業化交付金バイオマス利活用高度化の推進事業を活用し、バイオマス産業都市構想上の事業化プロジェクトについて、市内の民間事業者が基本設計を作成したが、今般の世界情勢による資材価格高騰の影響等により、事業採算性の確保が困難なことから事業化については中止となった。
2. 木質バイオマス熱利用プロジェクト	バイオマス産業都市構想策定時は、市内の指定管理施設の温浴施設での導入を想定していたが、民間企業へ譲渡となってしまったため、指定管理から外れ、実施ができなくなった。また、剪定枝の収集・保管についての目途が付かず、安定した熱利用の事業化が難しいため。

②運営上の課題

事業化プロジェクト名	運営上の課題
1. 使用済きのご培地バイオガス化プロジェクト	社会情勢が急激に回復することは想定しづらいことから、事業化を実施するためにはプラン及び構想の根本的な見直しが必要である。現行の事業化プロジェクトの内容で採算性を確保することは困難である。
2. 木質バイオマス熱利用プロジェクト	ボイラー等の設備設置場所や燃料となる木材の保管場所を確保しなければならないという課題がある。構想では熱供給事業に絞っているが、提案機器については発電するものや、木質バイオマスを土壤改良材として使用し、土壤へ炭素を貯留するものがあったことから、今後の事業展開の可能性を探る。

II 脱炭素化の取組状況や取組方針に関する設問

II-1 地域における脱炭素に関する計画について

計画名称等	策定年度（選定年度）
地方公共団体実行計画 (区域施策編)	2023 年度 https://www.city.nakano.nagano.jp/docs/2024032900099/file_contents/nakanoshikuikisesakuhens.pdf
分散型エネルギーインフラプロジェクトマスターplan	2018 年度 https://www.city.nakano.nagano.jp/docs/2019041500033/file_contents/H30.pdf
ゼロカーボンシティ宣言	予定

II-2 地域における脱炭素化に関する取組概要

- 既存住宅エネルギー自立化補助金の交付
- 宅配ボックス等購入費補助金の交付